

令和4年10月11日

所沢市記者クラブ 御中

リハ並木祭実行委員会
(国立障害者リハビリテーションセンター)
(国立職業リハビリテーションセンター)



第43回リハ並木祭の開催について

第43回リハ並木祭が下記のとおり開催されますのでお知らせいたします。

記

1. 日時 令和4年10月15日(土) 13:00～16:00
※研究所オープンハウスも同時開催
2. 場所 国立障害者リハビリテーションセンター
(訓練棟、体育館、本館、講堂、研究所等)
国立職業リハビリテーションセンター
(訓練室、視聴覚室)
3. 内容 別添のとおり(別添1、別添2)
4. その他 報道関係者につきましては、当日、受付(本館1階)にお申し出下さい。
広報担当職員が対応いたします。

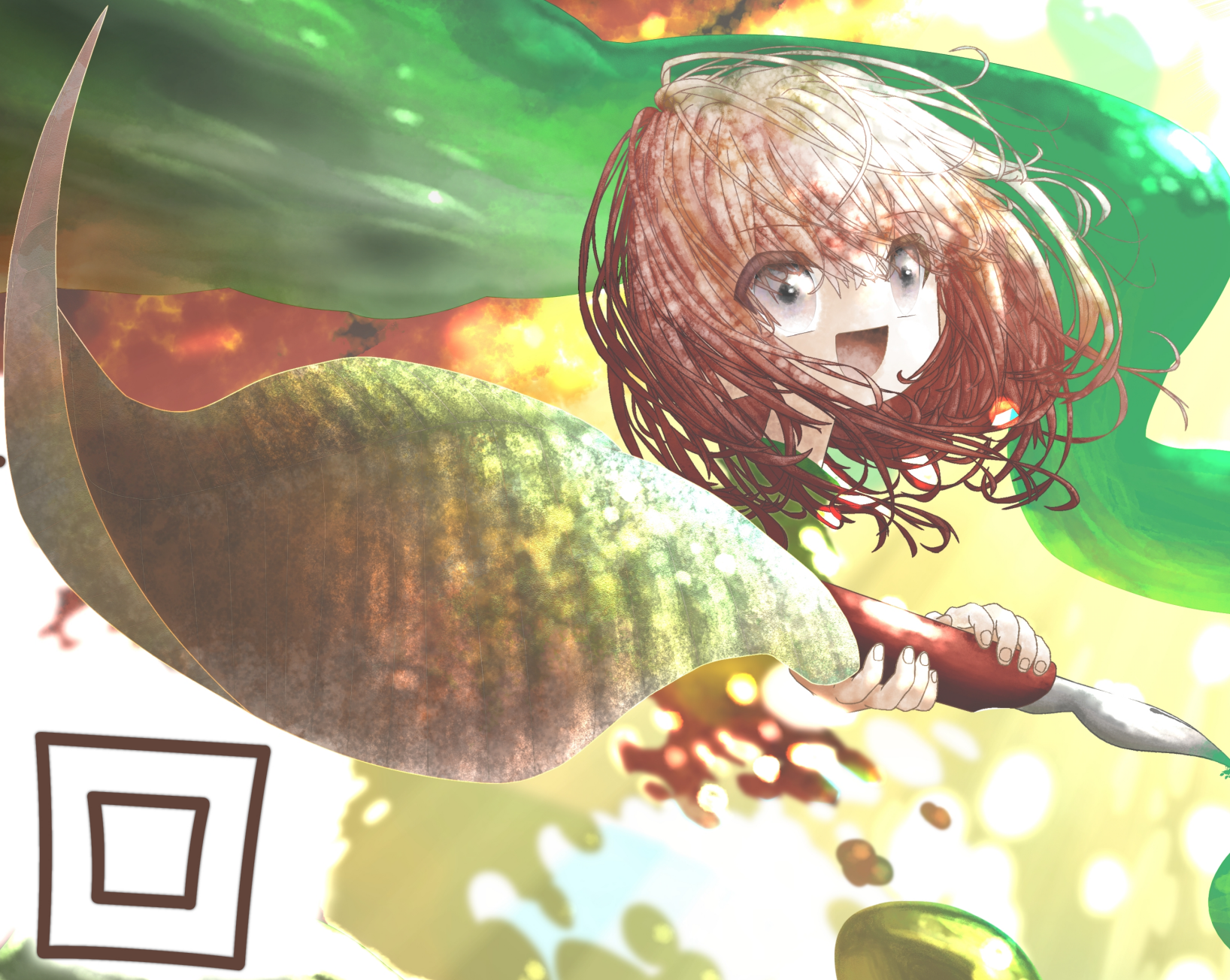
カメラ撮影につきましては可能ですが、個人が特定できる撮影は原則ご遠慮ください。特定の個人への取材及び写真撮影が必要な場合は、事前にご連絡をお願いします。

[照会先]

- ◆ 国立障害者リハビリテーションセンター
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 電話番号: 04-2995-3100
リハ並木祭事務局(内線2222)
研究所オープンハウス事務局(内線7192)
広報担当(企画・情報部企画課)(内線2141)
- ◆ 国立職業リハビリテーションセンター
〒359-0042 埼玉県所沢市並木4-2 電話番号: 04-2995-1029
管理課

これからを描こう

新しい世界に



第43回

リハ並木祭

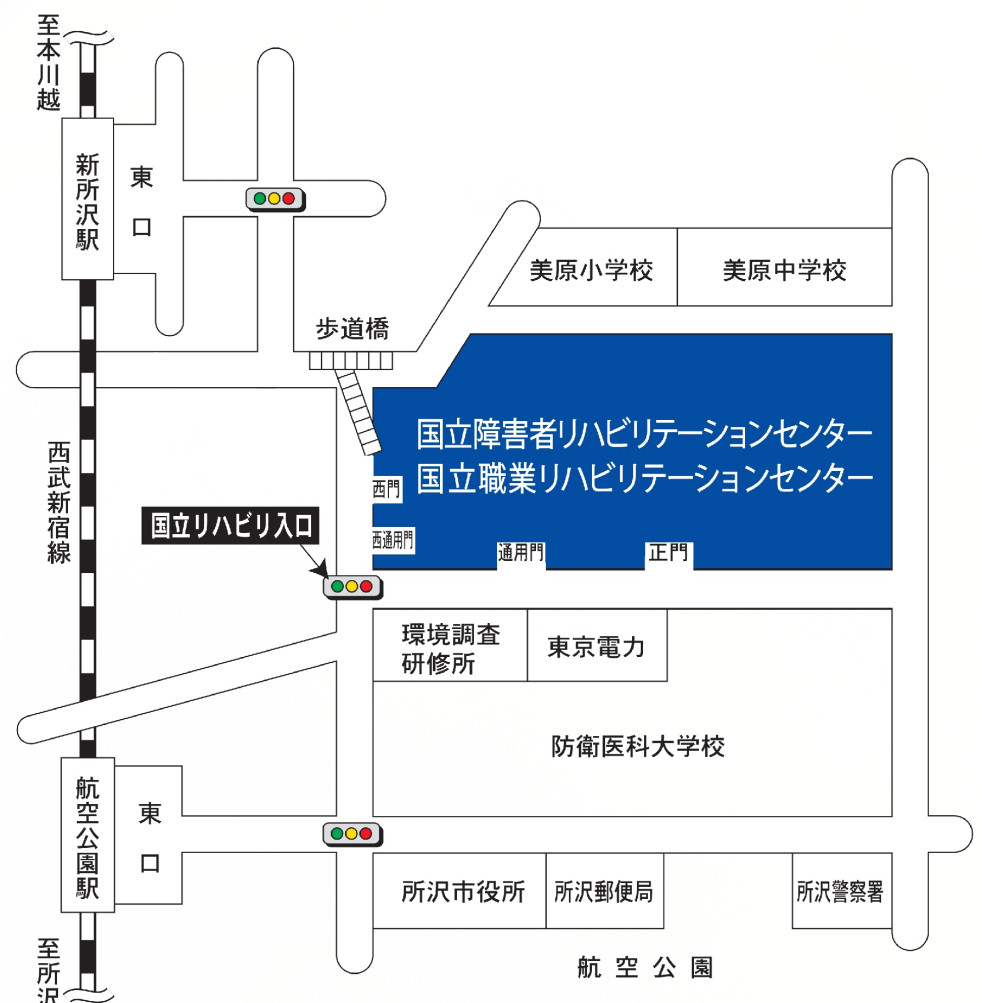
一般公開

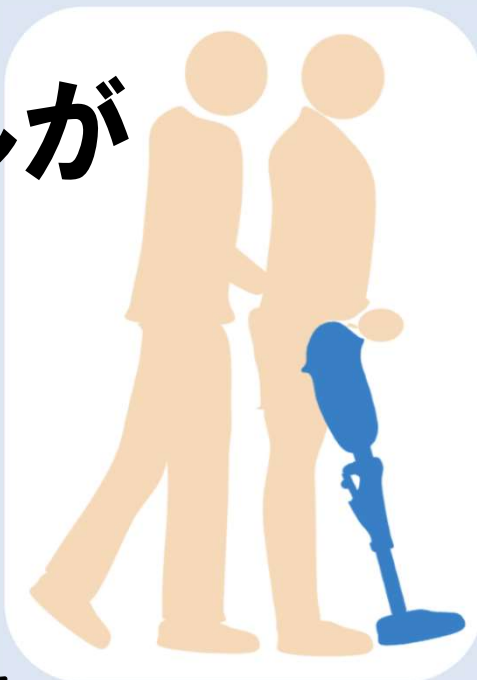
日時

令和4年10月15日(土)
13:00~16:00

場所

国立障害者リハビリテーションセンター
国立職業リハビリテーションセンター



2022年度
オープンハウス～未来の暮らしが
広がる研究～

- ✓ 2022年10月15日（土）
- ✓ 13:00～16:00
- ✓ リハ並木祭と同時開催

研究所オープンハウスについて

運動機能系障害研究部

脳機能系障害研究部

感覚機能系障害研究部

障害工学研究部

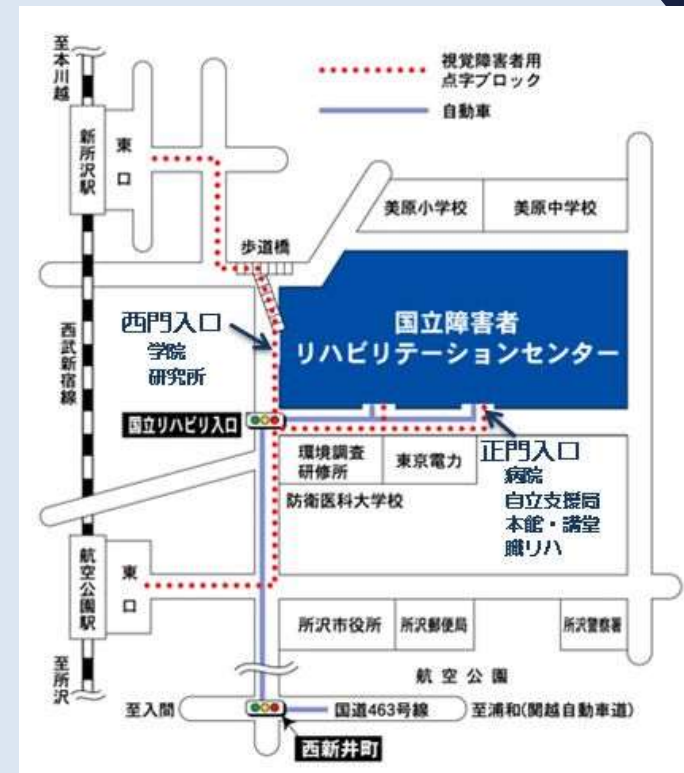
福祉機器開発部

義肢装具技術研究部

障害福祉研究部

当研究所は7つの研究部から構成されています。それぞれの部で取り組んでいる研究成果・開発した支援技術・福祉機器を一般公開します。

是非この機会に障害のある方の自立支援や社会参加を可能とする最先端の研究に接してみてください。



- ・航空公園駅、新所沢駅には車イス利用者のエレベーターが設けられています。
- ・航空公園駅、新所沢駅（東口）からセンターまで点字誘導ブロックが敷かれています。
- ・所沢駅からセンターまでタクシーを利用すると約10分です。
- ・航空公園駅、新所沢駅からはタクシーで約5分、徒歩で約15分です。

オープンハウス会場では、必要な方に、展示内容のタイトルを記したテキストファイル入りのCD-Rを配布いたします。また、ルビ付き簡易版と点字版の当日配布資料、筆談器も用意しています。テキストファイルの事前入手をご希望の方、その他の情報保証が必要な方は、オープンハウス事務局までご連絡ください。

今年の展示一覧

👁️ 体験、測定コーナーあり 📡 オンラインポスター 🖥️ 動画

運動機能障害研究部



- メカニカルストレスによる生体内炎症の制御機構
- 身体不活動による骨量低下の病態解明と新規治療・予防法開発の基盤確立
- 脊髄完全損傷者用長下肢装具の開発（成人・小児モデル）
- 歩きの特徴を捉える追尾型歩行計測システムの開発
- 重心動揺リアルタイムフィードバック装置BASYSの開発
- 車いすセッティング最適化のためのシミュレーター・設定可変車いすの開発
- 身体と調和する義手の開発
- 半側空間無視の病態メカニズム理解に基づく新たな評価手法の開発
- 再生医療と連動した脊髄損傷者のリハビリテーションの取り組み
- COVID19下の褥瘡予防の取り組み



福祉機器開発部



- 機械学習を用いた視線方向の検出による意思伝達支援システムの開発
- 認知機能を支援する機器の利活用に関する研究
- 義肢装具の試験評価
- センシング技術を使った電動車椅子安全走行に関する研究
- 頸髄損傷者の夏場の高体温を予防するアプリの開発
- 障害者の災害対策チェックキット「自分でつくる安心防災帳」
- 支援機器・ICF対応表を活用した支援機器の適切な選定・導入
- 補装具費支給制度による車椅子・座位保持装置等支給割合の都道府県間比較
- 過疎高齢化地域を対象とした情報支援機器のコミュニティ実装手法の開発



障害工学研究部



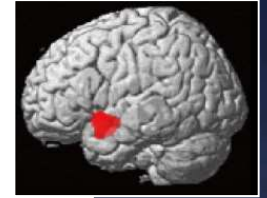
- 障害者の身体表面に取り付けるセンサの開発
- ニーズに基づく障害者のための自立支援機器開発を学ぶ人材育成プログラムの開発
- 重度運動機能障害者を支援するジェスチャ認識インタフェース
- 遠隔操作システムを活用した障害者の社会参加機会の拡大に関する研究開発
- 「自分で歩く」を支援する：無動力×装着型歩行支援機構の提案



脳機能系障害研究部



- 発達障害者の聴覚の問題とその軽減を目指す研究
- 発達障害者の食の問題に関する調査・研究
- 自閉症の言語の研究
- 国リハにおける手話の研究
- 発達障害者の表情認知の問題とその軽減を目指す研究
- 認知行動機能に対するニューロモジュレーション手法の開発



感覚機能系障害研究部



- 網膜の変性と再生に関する研究
- 聴覚障害の病態解明に関する研究
- 幼児吃音の支援体制確立に向けた研究



障害福祉、義肢装具技術研究部



- 義手・義足や車いすの価格のはなし
- 「見え方」に問題を抱える方と介護保険サービス
- 障害者ファッション（障害に配慮した衣服）
- 医療的ケアが必要な子どもと家族が安心して暮らすための研究
- 義肢装具技術研究部の紹介動画2編
- はじめての義手・義足のパンフレット
- 断端に関する研究
- 義手に関する情報交換
- こどもの義手訓練用のデバイス



オープンハウス事務局・問い合わせ先

国立障害者リハビリテーションセンター研究所事務局

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1

TEL: 04-2995-3100

Email: openhouse2022@rehab.go.jp

<http://www.rehab.go.jp/ri/eventj/openhouse/2022-openhouse/>